

群馬県内企業の健康経営の取り組み

群馬経済研究所 主任研究員 丸岡美智世

調査のポイント

近年、「健康経営[®]」が注目されている。これは従業員の健康管理を積極的に行い、生産性の向上や業績の向上を目指す経営手法である。本稿では、健康経営の概要や、県内企業の取り組み事例を紹介する。

要約

- 群馬県内では「健康経営」を実践する法人が増加している。
- 県内企業を対象に実施したアンケート調査では、従業員の健康課題について積極的に対応している企業が多くみられ、実際に健康経営を実践する企業は全体の1割弱、今後取り組もうとする企業も1割弱みられた。
- 健康経営を実践している県内企業へのヒアリングによると、その効果として、①従業員の体調の改善、②離職率の低下、③社内におけるコミュニケーションの増加、④生産性の向上が挙げられた。
- 健康経営を実践するなかで分かった事項として、①従業員の健康に対する意識変革には時間がかかること、②従業員の健康課題への対応で自社が足りない事項が明確になることが挙げられた。
- 今後、人口減少、少子高齢化がさらに進み、人材不足による経済活動の下押し圧力が強まる。こうしたなかで、これからの経営手法のヒントとして「健康経営」を参考に、または活用して、企業の持続的成長に向け、労使双方が良好な関係を築きつつ労働環境整備に取り組んでいくことが望まれる。